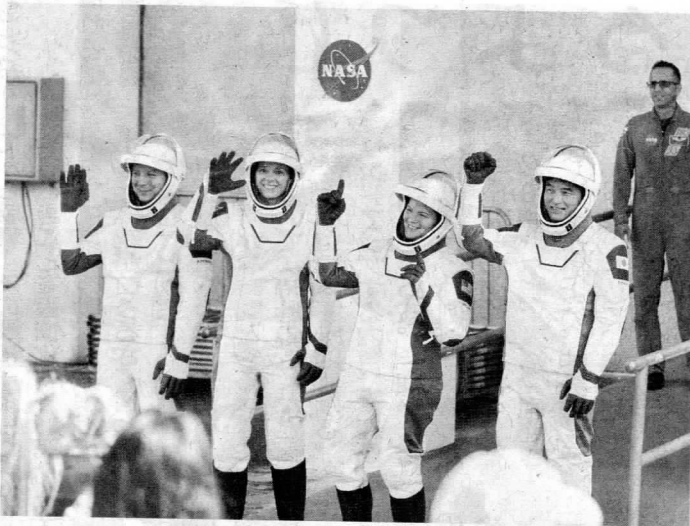




大西さん、2度目の宇宙へ

日本人3人目 ISS船長も

国際宇宙ステーション（ISS）

S）長期滞在に臨む大西卓哉さん（49）ら4人が乗る民間宇宙船クルードラゴン10号機が15日午前8時3分（日本時間）、フロリダ州・ケネディ宇宙センターからファルコン9ロケットで打ち上げられた。

クルードラゴン機は約10分後にロケットから分離され、16日午後（同）にISSにドッキングする計画。大西さんのほか、米航空宇宙局（NASA）の宇宙飛行士2人とロシア人宇宙飛行士が搭乗している。

大西さんの飛行は2016年以来2度目で、約半年間滞在。後半にはISS船長に就任する予定で、ISSの運用やクルーの安全を守る責任者を務める。

日本人のISS船長は若田光一さん（61）、星出彰彦さん（56）に続き3人目となる。

滞在中には、日本実験棟「きぼう」などで行うさまざまな宇宙実験を担当。脾臓がんの遺伝子変異を持つシヨウジョウバエをISSで誕生させ、がん治療薬の効果に微小な重力環境が及ぼす影響を調べる実験や、将来の月探査などへの利用が期待される二酸化炭素除去装置の実証実験などを行う。

国際宇宙ステーション（ISS）に向けた出発前に、見送りの人たちに手を上げて応える大西卓哉さん（右端）＝14日、米フロリダ州ケネディ宇宙センター（JAXA提供）